

# 学校給食だより 秋田っ子給食

NO-104

公益財団法人 秋田県学校給食会

## 「すべらない箸」など3点セット「合格ギフト」ネット販売 稲川中、特産品使い企画



湯沢市の稲川中学校（富谷祥彦校長、137人）が、地域の特産品をセットにした生徒考案の「夢かなエールギフト」をインターネットで販売している。受験シーズンを意識した3品が入っており、同校は「親類、知人に受験生がいる人にも関心を持ってもらいたい」としている。

同校は2021年度から、生徒の起業家精神や地域活性化への意識を育もうと「総合的な学習」の授業で「iNAゼミ」と銘打ち、地元の特産品を使った商品開発に取り組んでいる。22年度は授業の一環で、株式会社形式の組織「稲川カンパニー」を立ち上げ、1口500円の株券を発行。活動

の原資に充てオリジナル菓子などを作って販売してきた。

稲川カンパニーが販売するセットは▽台風でも落果しなかったことにちなみ、駒形りんごを乾燥させてチップスにした「落ちないりんご」▽箸を合格に掛けて5角形にし、先端部分に凹凸を施して滑りにくくしている川連塗の「すべらない箸」▽喉越しのいいカップ麺の稲庭うどん「するする入るうどん」の3品で構成。限定100セットで価格は2500円（送料別）

セットは21年度のiNAゼミでアイデアが生まれ、ネットでも販売した。22年度も商品を通じて地域をPRし活性化につなげようと、稲川カンパニーが販売を企画。ネット販売のノウハウを持つ川連運送（同市川連町）に協力を求め、快諾を得た。同社がネット上で運営する「かわつら屋」のサイトで購入できる。



同校はiNAゼミの活動を来年度も継続することにしており、セットの売り上げを活動資金に充てる計画。稲川カンパニーの最高経営責任者（CEO）の松浦凜太郎さん（3年）は「受験シーズンが迫る中、セットの内容は合格に関連した品になっている。稲川地域の魅力に触れながら夢の実現に向けて頑張ってもらいたい」と話した。（小林智彦）



（秋田魁新聞 令和5年1月6日（金）より一部抜粋）